



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠塾

vol. 29



久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~21:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com
HP <https://kuon-jukulocalinfojp.amebaownd.com>

久遠塾スタッフ



なかがわ ゆうき
中川 雄貴

「総合的な探究の時間」の
授業に参加しました！

9月13日、白糠高等学校2学年の「総合的な探究の時間」の授業に、東北出身の塾スタッフである中川と柴澤が「岩手と宮城、そして東日本大震災」と題して発表を行いました。新型コロナウイルスの影響で見学旅行先が急遽変更になり、生徒たちの探究活動の場が



「総合的な探究の時間」の授業の様子

関西から東北になったためです。授業のはじめに生徒たちから岩手と宮城のイメージについて思いつくままだに書きだしてもらいました。

岩手県については、少量のそばが次々とお椀に盛られそれを何杯食べられるのか競うという岩手の名物料理「わんこそば」が一番多い回答でした。私が3年前に挑戦したときの記録は81杯。全日本大会も開かれているので、興味ある人はぜひ挑戦してみたいかたがどうでしょうか。

宮城県については、どちらも宮城を代表する偉人と名所である「伊達政宗」・「仙台城」が多くあ

げられました。伊達政宗は「独眼竜」とも称された有名な武将で、仙台城は、そんな伊達政宗によって築かれた城です。城自体は現在消失してしまっているものの、大きさは2万坪と、当時としてはかなり大規模だったようです。

次に東北地方の文化や特色、スタッフの震災の体験談、防災に関する思いを伝えました。生徒から、「白糠町も海が近いので、日頃からの備えが必要だと改めて思いました」「地名の由来とか、初めて知るものが多くて楽しかった！」「防災やもしものことを考えておくべきだと思った」といった感想をもらいました。

今回私たちが伝えた内容が、少しでも生徒たちの興味関心につながり、10月の見学旅行が実りあるものになることを願っています。

白糠に来てから思うこと

4月30日に白糠町に来て、間もなく半年が経過しようとしています。自分が高校生だったときとは違って、教育者という目線で学校に関わるようになってたかさんの気づきや発見がありました。

そのひとつに「分かりやすく教えることの難しさ」があります。生徒に理解しやすいように伝えるためには、自分自身がしっかりと理解していることはもちろん、入念な準備や知識、経験が重要だと実感しました。これは今後の課題として『習うより慣れよ』という格言がありますが、学びながら生徒とともに成長していきたいと思えます。

振り返るとあつという間で、とても充実した半年間でした。残りの半年、塾講師としてしっかりと経験を積んで、指導できるよう努力していきたいと思えます。また、学校外で地域住民の方々との交流を深めたり、新しい体験を重ねたりして、実り多き時間としていくつもりです。

